

## 地域の皆様へ

西中学校は順調に伸びています。今後も一層信頼され、みんなの心に輝く学校にしていく所存です。

この度、以下のような考えから、校訓を設定したのでお知らせいたします。皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。(平成21年11月 西中学校長)

文部科学省は、校訓を生かした学校づくりを奨励しているが、校訓は学校の精神的基盤となるもので、生徒に大きな影響があるのは間違いない。特色ある学校を標榜する学校は多いが、気風を感じる学校は少ない。学校には、連綿と受け継がれる精神がなければならない。

本校は創立(昭和34年)されて50年が過ぎた。今年は、創立100年に向って、後半の50年の初年となる年であり、更なる本校の発展を期して以下のような校訓を設定した。校訓が息づく学校にしたいものである。

## 校訓「強く 正しく 美しく」

### 強く

強さには、身体だけでなく精神的な強さも必要である。人が生きていくには、諸々の苦難、蹉跌を越えなければならない。したがって、強健や剛健、頑健と表現されるくらいに、心も体もたくましく、夢や希望、大志(大きな目標)を抱いて生きていくことが大事である。

### 正しく

物事には、基礎基本がある。きちんと身につけなければ正しく進めない。進歩もない。考えるより所となる知識がなかったら、物事を筋道立てて考えることもできないし、正しい判断もできなくなる。

不正なことをして結果(継)を得ても、長続きはしない。幸せにもつながらない。姿勢(気持)を正し、正しく行動していくことは非常に大切である。

### 美しく

美しさとは何だろう。見た目(身なりや髪形が整っているなど)も大事だが、見えない部分も大事である。人としての美しさ、真の美しさを感じさせるのは、むしろ見えない部分(心)であろう。

美しい心とはどんな心だろう。美しい心に対する思いは人それぞれだが、思いやりや感謝の心、自己犠牲や互譲、自他共栄の精神、自然や文化の愛護心、家族愛、郷土愛、愛校心、愛国心、慈愛といった心などは、美しい心と言えるだろう。

強くなくては生きていけない。 — だが、強いだけではいけない。正しくなくては。そして、美しくなくては。

(2009年 創立51周年にあたり 校長)